

## 2012 年度春学期（アクツ科目は通年を含む）

### 学生による授業評価アンケート結果の評価

#### 神学部

- ・今回より、最高点が5から4に変更になったため、従来との比較に注意されたい。
- ・全体として、学生の評価は安定して高い。また、コメント欄には積極的で建設的な意見が見られ、授業改善に役立つ内容となっている。
- ・学生の興味や達成感についての指標をどのように判断して、授業改善に反映させたらよいかを検討していただけるとよいと思う。

#### コア・教養

学生たちの評価は、安定して高い。授業外の学習時間は、多くの授業で週1時間未満であることをどう評価すべきか。学生の科目履修数は、1学期平均で7科目程度を考慮すると決して十分とは言えない。日本語での授業：1.17 時間（11 年冬学期：1.09）、ACTS：2.17（2.24）。

#### 神学科

概ね学生たちが春学期の授業に満足している様子が、全体的に高い評価に反映している。しかし、いくつかの授業で教具（ホワイトボード、プロジェクター等）の有効活用と授業全体に関する理解度、進み具合などについて不満の声があることも事実である。

#### 国際キリスト教学専攻

総じて学生の授業に対する評価は高かった。一部のクラスで学生から指摘があった成績評価の方法についてシラバスで明示することをより徹底したい。

#### キリスト教福祉学専攻

非常勤教員の評価は概ね良かった。福祉専任教員への評価で特に注意を要するのは内容の重複部分が多かった点である。確かに介護福祉士養成テキストには内容が重なる部分も多く見られるが、シラバスの中心内容を重点に授業をすべきところ、少し外れた部分に時間を割いた結果であるといえる。この点については、春学期にすでに学生の声が聞こえたので専攻会議において各教員が改善することを確認した。また、授業のポイントをわかりやすく理解させるという点については課題を残しているため、今後も検討したい。

#### 神学研究科

科目数が少ないので何とも言えないが、複数教員の科目より単独教員科目の方が学生の満足度は高いようである。つまり、複数教員によるコミュニケーションにはさらなる改善が求められるかもしれない。

#### 教会音楽専攻科

専攻科初めての開講となり、また初めての授業ということもあり、教員の準備や学生の取り組みに改善すべき課題が見受けられる。今後の奮闘を期待する。

2012 年 10 月 23 日

教授会 資料

# 2012年度授業評価アンケート結果

学期 春学期  
科目名 日本語提供科目全体

